

科目	建築計画概論 (Architectural Design and Planning)		
担当教員	亀屋 恵三子 准教授		
対象学年等	都市工学専攻・1年・前期・選択・2単位		
学習・教育目標	A4-AS1(100%)	JABEE基準1(1)	(d)1.(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	建築設計とは、設計者が中心的な役割を果たす前段階（建物の基本的な形態を決定する）の基本計画と材料や細部のおさまりを決定する実施設計に分けられるが、建築計画は前者とのかかわりが深い。適切な設計を行うためには設計基準や建物の使い方を知ることが重要である。本講義では、これらのことを習得することを目標とし、2級建築士の学科試験（計画）にも対応している。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-AS1】住環境計画についての基本事項・寸法が説明できる		住環境計画についての基本事項・寸法が理解できているかどうか、中間試験にて評価する
2	【A4-AS1】学校や図書館の建築について基本事項や寸法が説明できる		学校や図書館の建築について基本事項や寸法が理解できているかどうか、中間試験および定期試験で評価する
3	【A4-AS1】病院についての基本事項や寸法が説明できる		病院についての基本事項や寸法・図面が理解できているかどうか、定期試験で評価する
4	【A4-AS1】美術館や博物館について基本事項や寸法が説明できる		美術館や博物館についての基本事項や寸法・図面が理解できているかどうか、定期試験で評価する
5	【A4-AS1】施設計画の基本事項や要点について説明できる		施設計画の基本事項や要点について理解できているかどうか、レポート、プレゼンテーションにて評価する
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験80% レポート10% プレゼンテーション10% として評価する。中間テストと定期テストの合計の平均を試験の評価とし、建築に関するレポートと公共施設に関するプレゼン内容も併せて評価の対象とする。総合評価は100点満点中60点以上を合格とする。		
テキスト	随時プリントを配布		
参考書	「建築計画」, 五十嵐太郎, 市谷出版 (2012) 「建築計画」, 長澤泰, 市谷出版 (2007)		
関連科目	建築計画, 土木・建築設計製図Ⅰ, Ⅱ, 応用土木・建築設計製図Ⅰ, Ⅱ		
履修上の注意事項			

